

# 取扱説明書

## ■ エアーバランスブースの強制給気装置

V B C-15F~50F、-S15F~S50F (ベンチュリーブース用)

B B C-15H~45H、-S15H~S45H (バッフルブース用)

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告、注意事項および取扱い方法について記載しています。

ご使用前に、かならずお読みになり、十分理解してからご使用ください。

本書はすぐ確認できる場所に大切に保管してください。

※ ご使用になる前に、かならず表の空欄に必要事項をご記入ください。  
修理・サービスの際必要となり、お客様のお役に立ちます。

形 式	
製 造 番 号	
購 入 先	
購入年月日	年 月 日
使用開始日	年 月 日

## 重要なお知らせ

このたびは、弊社のエアバランスブースをお買い上げ頂きましてありがとうございます。

- ご使用になる前に、必ずこの強制給気装置の取扱説明書とブース本体の取扱説明書(別紙)を注意深く読み、よく理解してからご使用してください。
- 取扱説明書の中の注意事項および使用方法等をよく読んでご使用頂かないと、ブースの能力を十分に発揮できないばかりか、『火災・人身事故・塗装不良』等につながりますので、十分に内容を理解した上で正しくご使用してください。
- お買い上げの製品や取扱説明書の内容についてご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売店または、弊社の支店・営業所にお問い合わせしてください。
- 取扱説明書および警告ラベル等は大切に ご使用してください。万一、紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管または、貼り付けしてください。

- ・この取扱説明書では、「警告」「注意」について、次のような定義と警告表示を使用しています。
- ・警告表示は安全作業のための重要な事項です。
- ・人身事故や財物損害事故のための重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

### ■絵文字の例

	この記号は『してはいけないこと』を意味します。 記号の中や近くに具体的な禁止内容を表示します。(左図の例は火気禁止)
	この記号は『注意すべきこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。(左図の例は感電注意)
	この記号は『しなければならないこと』を意味しています。 この記号の中や近くに、具体的な指示内容を表示します。(左図の例は取説書を読む)

\*警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害、損傷については、弊社では、責任を負いかねますのでご了承願います。

### ■補足表示について

<b>重 要</b>	この記号は、装置の性能や機能を十分に発揮していただくために、守っていただきたい内容を示しています。
------------	---

# 目 次

---

1. 使用目的	2
2. 警告・注意事項	2
2.1. 警告・注意事項	2
2.2. 警告ラベルの貼付位置及び内容	3
2.3. その他の主な重要事項	3
3. エアーバランスブースの特長	4
4. 各部の名称と機能	5
4.1. 全体構成	5
4.2. 構成部品と機能	6
5. 始業点検	8
6. 運転・停止	8
6.1. 運転	8
6.2. 停止	9
6.3. スイッチについて	9
7. 終業点検・操作	9
8. 定期点検	10
9. 異常・故障とその処理	12
10. 給・排気風量のバランス調整について	13
10.1. 風量バランス調整の目的	13
10.2. 風量バランス調整の方法	13
11. 風向板の調整について	14
11.1. 風向板調整の目的	14
11.2. 風向板調整の方法	14
12. フィルタの洗浄/交換時期・交換方法について	15
12.1. フィルタの洗浄/交換時期	15
12.2. フィルタの洗浄/交換の判断	15
12.3. フィルタの洗浄/交換方法	16
13. 製品仕様	17
14. 消耗品リスト	19
15. 保証と修理サービスについて	20
15.1. 保証について	20
15.2. 修理サービスについて	21

## 1. 使用目的

このエアバランスブースの『強制給気装置』はフィルタで濾過されたゴミを含まない清浄な空気を塗装ブースへ供給する装置です。

(※この取扱説明書はエアバランスブースの『強制給気装置』に対する取扱説明書です。  
塗装ブース本体に対しては別紙の塗装ブース本体の取扱説明書を参照してください。)

## 2. 警告・注意事項

### 2.1 警告・注意事項

下記の事項を怠りますと、人身事故および火災、塗装の不良やブースの寿命・故障等につながる恐れがありますので、必ずよく理解したうえで正しく使用してください。

(※この警告・注意事項はエアバランスブースの『強制給気装置』に対する警告・注意事項です。塗装ブース本体に対しては別紙の塗装ブースの取扱説明書を参照してください。)

 <b>警 告</b>	
	<p><b>ブース内やその周辺で火気、電気機器（防爆機器を除く）の使用禁止</b></p> <p>シンナー・塗料等に引火して、火災や爆発の危険性がありますので、普通仕様の電気機器は使用しないでください。</p>
	<p><b>建屋側電源がONの状態での電気系統の点検禁止</b></p> <p>感電したり、急に回りだして、けがをすることがありますので、必ず電源をOFFにしてください。</p>
	<p><b>運転中および電源がONの状態でのファン内部の点検禁止</b></p> <p>回転部分に触れたり、巻き込まれたり、急に回りだしたりしてけがをすることがありますので、必ず電源をOFFにしてください。</p>
	<p><b>取扱説明書を良く読み、理解した上で使用すること</b></p> <p>誤操作により思わぬ事故につながったり、ブースの寿命を縮めたりすることがあります。</p>

## △ 注 意

	<p><b>換気が不十分な状態での塗装禁止</b></p> <p>吸込不良となって、有機溶剤ガス等が飛散し、有機溶剤中毒になったり、塗装不良の原因となる恐れがあります。十分な外気が入るように開放口を、必ず設けてください。</p>
	<p><b>改造禁止</b></p> <p>著しく性能が低下し溶剤ガスが飛散したり、塗料ミストがダクトから異常に飛散したりすることがありますので、改造しないでください。</p>

### 2.2 警告ラベルの貼付位置及び内容

警告ラベルは塗装ブース本体に貼付けしておりますので、貼付位置及び内容は別紙の塗装ブースの取扱説明書を参照してください。

### 2.3 その他の主な重要事項

警告・注意事項のほかの重要事項は、下記のとおりです。

(※この重要事項はエアバランスポースの『強制給気装置』に対する重要事項です。  
塗装ブース本体に対しては別紙の塗装ブースの取扱説明書を参照してください。)

#### (1) 給気ボックスの周辺は清潔にしてください。

給気ボックスの周辺でゴミの発生する作業を行ったり、給気する空気中にゴミが多く混入した場合には、給気1次フィルタ・給気2次フィルタが短期間で目詰まりします。フィルタが目詰まりしますと、クリーンな空気の供給量が低下してゆきエアバランスポースの性能が発揮できません。給気ボックスの周辺でゴミの発生する作業を行ったり、給気する空気中にゴミが多く混入しないようにしてください。

#### (2) 給気風量の調整を適時行ってください。

給気風量と排気風量のバランスがくずれると、塗装ブース内にゴミが侵入したりオーバープレーした塗料ミスト(溶剤ガス)が塗装ブースのフード部から飛散する等の問題が発生します。給気1次フィルタ・給気2次フィルタの目詰まりや塗装ブースの性能変化に応じて給気風量の調整を行ってください。

(3) チャンバ室には入らないでください。

チャンバ室内（フィルタを取り付ける枠）は人が乗れる強度がありません。

給気2次フィルタの交換時チャンバ室内（フィルタを取り付ける枠）には人が入らないでください。

(4) 給気2次フィルタの交換時は二人で、足場をしっかりと行ってください。

給気2次フィルタはフィルタ枠に組み込まれているため、思ったほど軽くありません。

交換時は足場をしっかりとした状態で二人で行ってください。

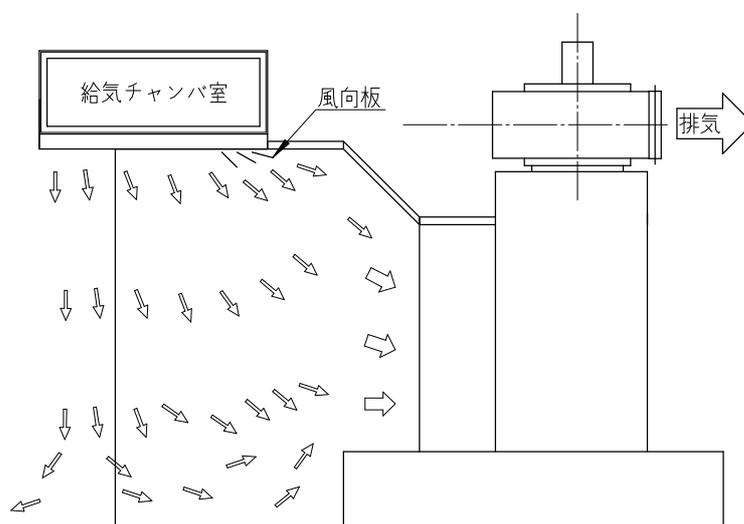
### 3. エアーバランスブースの特長

(1) 塗装物へのゴミ付着防止

給気1次フィルタ・給気2次フィルタで濾過されたゴミを含まない清浄な空気を塗装ブース内に供給するため、ゴミの侵入による塗装物へのゴミの付着を防止できる。

(2) 品質安定・快適な作業環境

加温装置（オプション）を付加することにより、給気温度をコントロールし塗装の温度条件を一定に保ち塗装品質の安定がはかれる。また、作業者が快適な作業環境で塗装作業ができる。



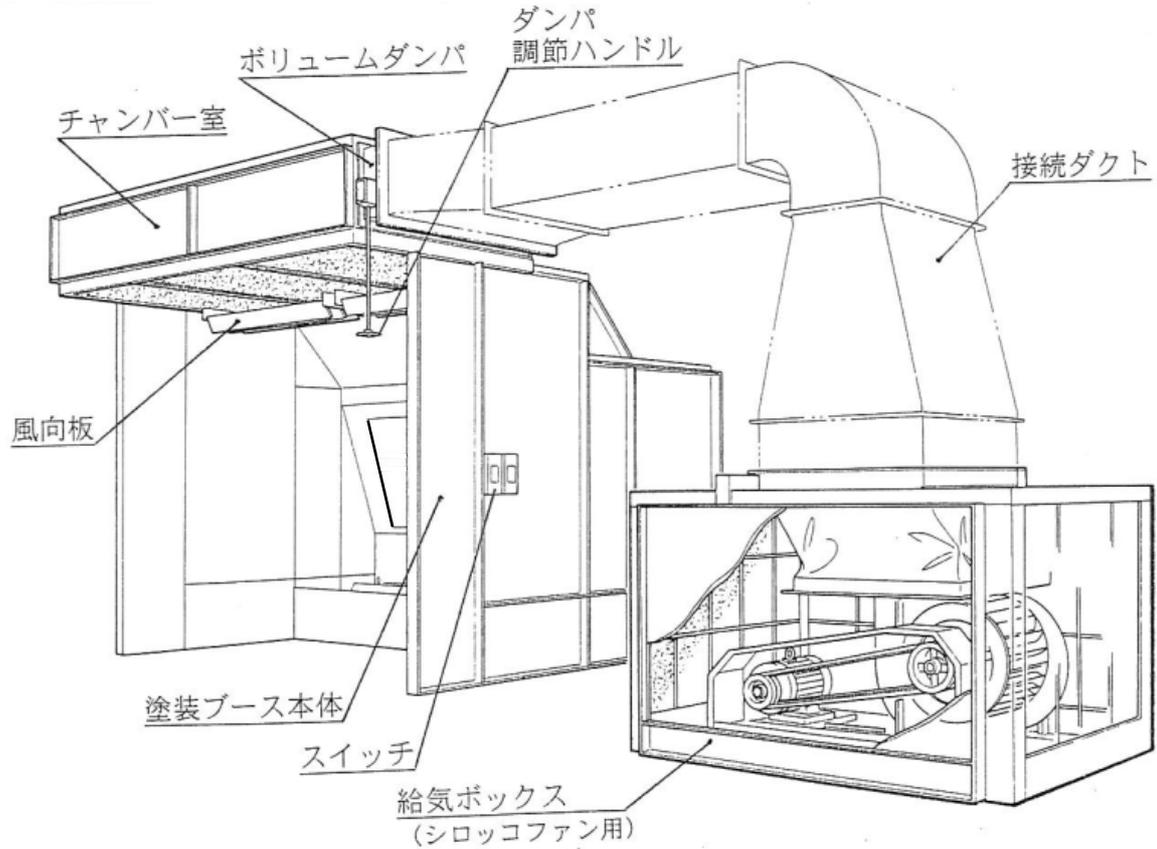
注 1) 矢印は清浄空気の流れを示します。

2) 図はVBC形（ベンチュリーブース用）の例です。

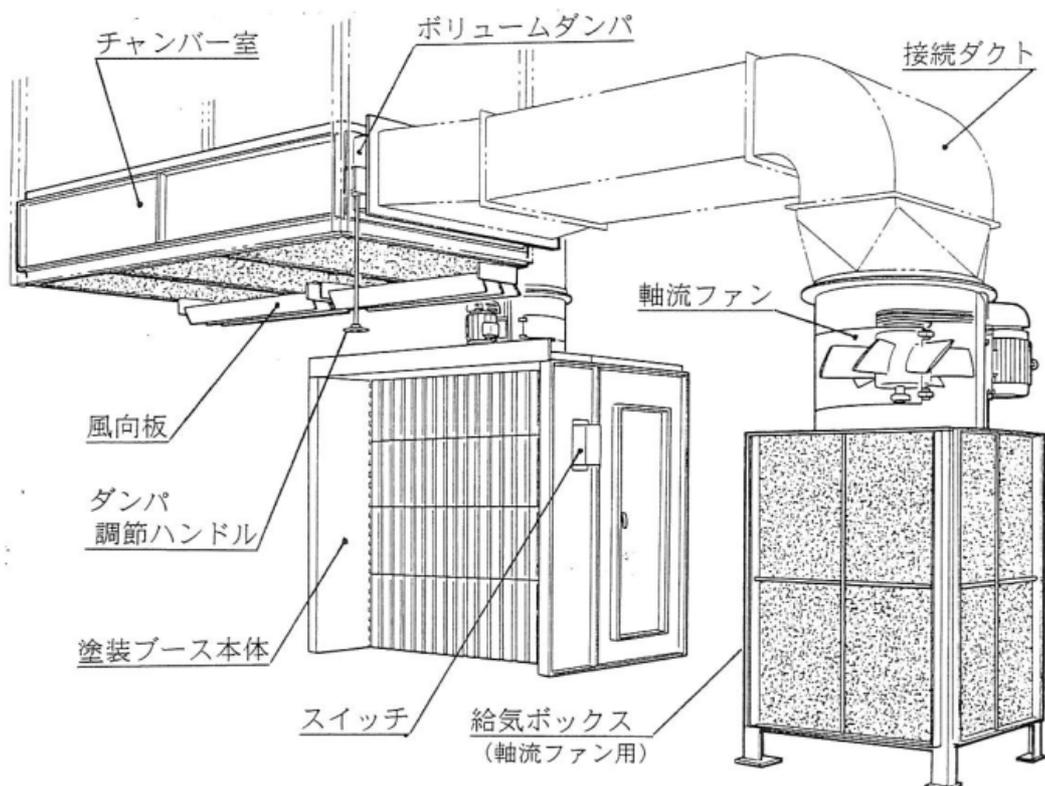
## 4. 各部の名称と機能

### 4.1 全体構成 (代表的な機種例)

#### ■ ブース・給気一体式 (図の例は VBC-50F 形 / シロッコファンタイプ)

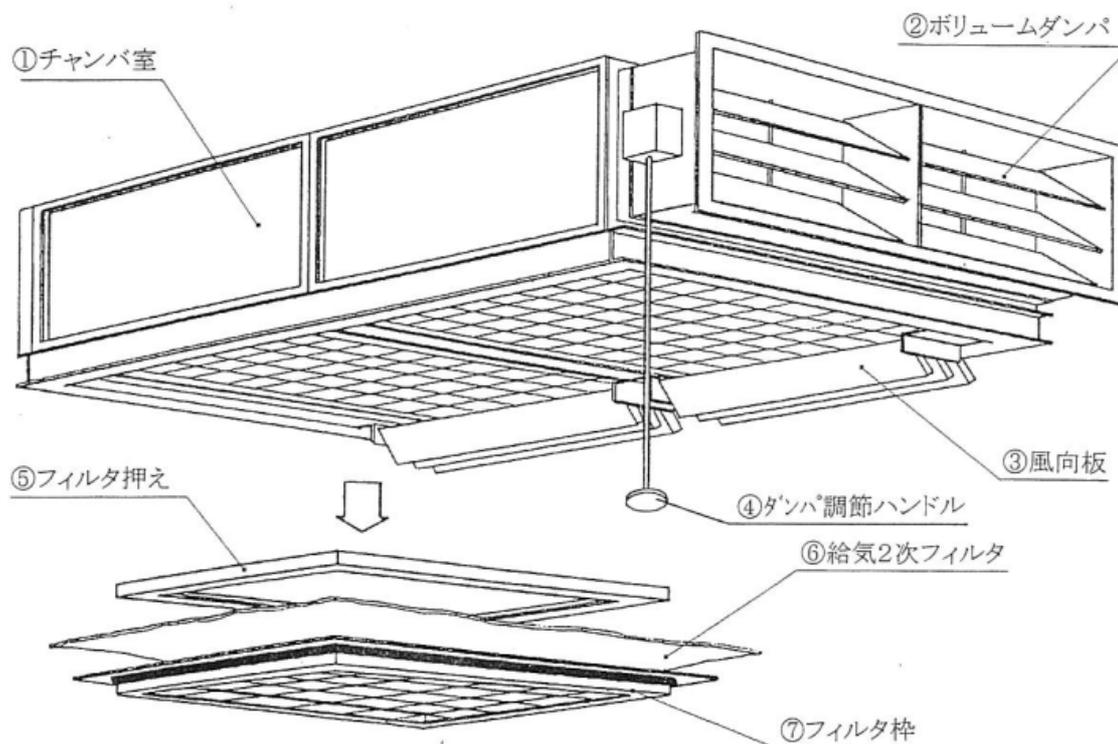


#### ■ 給気吊り下げ式 (図の例は BBC-S25H 形 / 軸流ファンタイプ)



## 4. 2 構成部品と機能

### (1) チャンバ室



No.	名称	機能
1	チャンバ室	給気する空気を給気2次フィルタへ分散させるための部屋
2	ポリリュームダンパ	給気する空気の量を絞って調整するための風量調節装置
3	風向板	塗装ブース内に給気する空気の流れの向きを調節する板
4	ダンパ調節ハンドル	ポリリュームダンパの開度(絞り具合)を調節するためのハンドル
5	フィルタ押え	給気2次フィルタをフィルタ枠に押さえるための部品
6	給気2次フィルタ	細かいほこりを濾過してクリーンな空気を作るためのフィルタ
7	フィルタ枠	給気2次フィルタを支えるための格子状の枠

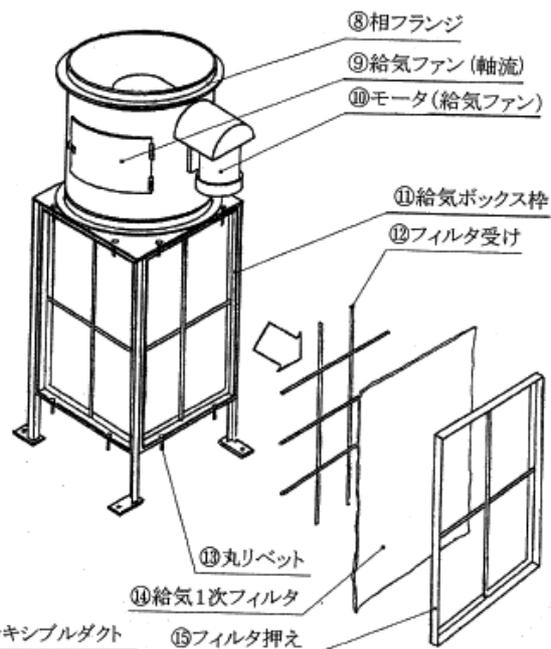
### (2) 給気ボックス

給気風量によって軸流ファンタイプとシロッコファンタイプおよびモータ出力の組み合わせ合わせによって下記のように5タイプがあります。

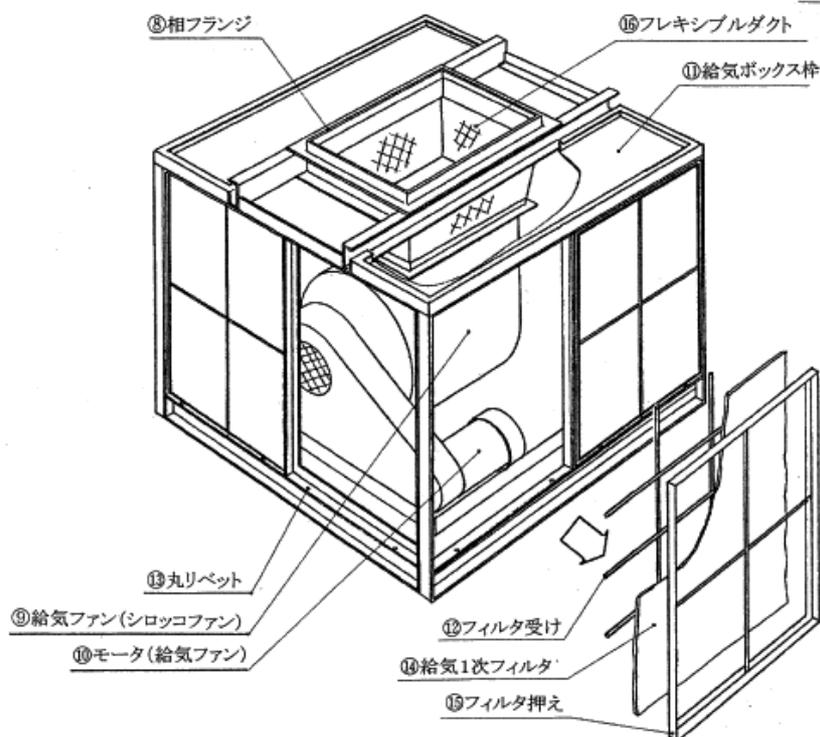
タイプ		ベンチュリーブース	バッフルブース
軸流ファン	1. 5kW	VBC-15F・20F	—————
	2. 2kW	VBC-25F	BBC-15H
	3. 7kW	VBC-30F・35F・40F	BBC-20H・25H
シロッコファン	3. 7kW	—————	BBC-30H・35H
	5. 5kW	VBC-50F	BBC-40H・45H

注) 給気吊り下げ式も同じ区分で、上記形式の中間部に『S』を追加すると、給気吊り下げ式となります。 VBC-S15F～S50F・BBC-S15H～S45H

## ■軸流ファンタイプ給気ボックス



## ■シロッコファンタイプ給気ボックス



8	相フランジ	ダクトを接続するためのフランジ
9	給気ファン	給気1次フィルタから空気を吸い込みチャンバ室へ送るためのファン
10	モータ(給気ファン)	給気ファンを駆動するための横形モータ
11	給気ボックス枠	給気ボックスを構成するための枠組み
12	フィルタ受け	給気1次フィルタを支えるための格子状の枠
13	丸リベット	フィルタ押えが外れないためのストッパーピン(フィルタ1面に4個)
14	給気1次フィルタ	比較的大きなゴミを濾過するためのプレフィルタ
15	フィルタ押え	給気1次フィルタをフィルタ枠に押さえるための部品
16	フレキシブルダクト	ファンの振動を給気ボックスへ伝えないための柔軟シート製のダクト

## 5. 始業点検

毎日、作業前に必ず始業点検を行ってください。

### ⚠注意

異常と思われる箇所が発見された場合には、取扱説明書にしたがって点検し、修復できなかった場合には使用を禁止して、直ちに販売店または弊社支店・営業所にご連絡ください。そのままお使いになると、事故や本機の損傷につながる危険性があります。

#### (1) 塗装ブースの始業点検

塗装ブースの取扱説明書を参照して始業点検してください。

#### (2) フィルタの汚れ、目詰まりの確認

給気1次、2次フィルタの汚れ、目詰まりを目視にて確認して、ひどい場合には交換してください。

#### (3) 回転音の確認

ファンを運転して、回転音が通常と変わらないことを、聴覚で確認してください。

## 6. 運転・停止

### ⚠注意

#### 換気が不十分な状態での塗装禁止

吸込み不良となって、有機溶剤ガス等が飛散し、有機溶剤中毒になったり、塗装不良の原因になる恐れがあります。十分な外気が入るように開放口を必ず設けてください。

ブースを運転すると、大量の空気が屋外に排出されますので、それに見合った空気を屋外から取入れる必要があります。密閉、あるいはそれに近い状態の室内で運転すると、空気が希薄となるために吸込み不良となってしまいます。十分な外気が入るように開放口を、必ず設けてください。

### 6.1 運転

ブース本体と給気装置のスイッチで運転・停止を行ってください。

(1) 建屋側電源／ON……ブースへ給電している建屋側電源をONにします

↓

(2) 給気ファンスイッチ／ON……給気ファンのスイッチをONにします

↓

(3) 排気ファンスイッチ／ON……排気ファン(塗装ブース)のスイッチをONにします

↓

(4) 給気風量と排気風量のバランス調整

…10項の給・排気風量のバランス調整を参照してください

↓

(5) 運転音／確認……通常と変わらないことを聴覚で確認します

## 6.2 停止

- (1) 排気ファンスイッチ／OFF……排気ファン(塗装ブース)のスイッチをOFFにします  
↓
- (2) 給気ファンスイッチ／OFF……給気ファンのスイッチをOFFにします  
↓
- (3) 建屋側電源／OFF……ブースへ給電している建屋側電源をOFFにします

## 6.3 スイッチについて

ファン駆動用モータの起動(赤色)・停止(緑色)のために使用します。 [LED 照明用も同様]

注)ファンの起動・停止を短時間に繰り返すと、誤動作する可能性があります。

再運転の際は、10 秒以上間隔をあけて起動してください。

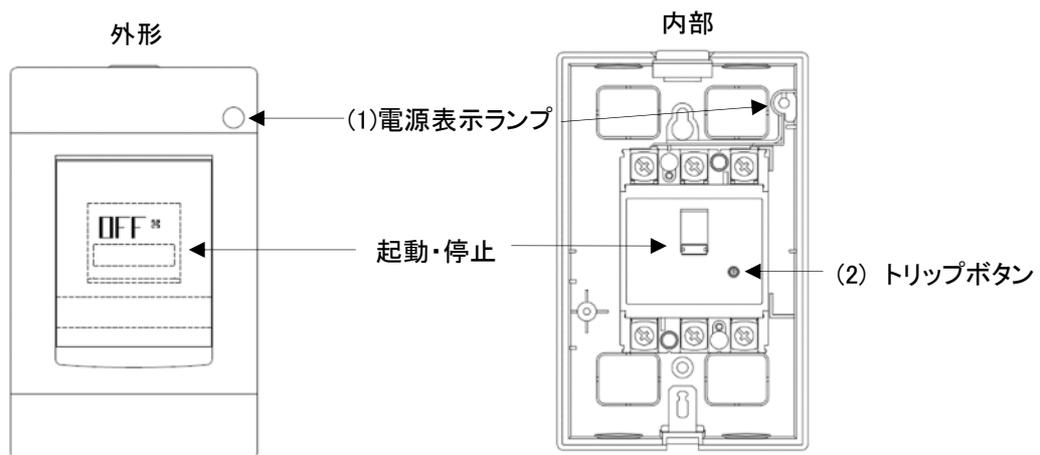
### (1)電源表示ランプ

1 次側電源が受電中の場合、電源表示ランプが赤く点灯します。

### (2)テストトリップ操作

シーケンスチェックのための、テストトリップ操作ができます。

内部のボタンを押すとトリップします。



## 7. 終業点検・操作

毎日、作業終了時に必ず終業点検・操作を行ってください。

### (1) 塗装ブースの終業点検

塗装ブースの取扱説明書を参照して終業点検してください。

(2) 給気1次、2次フィルタの汚れや目詰まりがひどい場合には、次の作業に備えて新しいものと交換してください。給気1次フィルタは掃除して再使用ができます。

(3) 終業時には必ず建屋側電源をOFFにしてください。

## 8. 定期点検

安全に、しかも、安定した性能を維持してお使い頂くために、必ず定期点検を実施してください。  
塗装ブースの定期点検は塗装ブースの取扱説明書を参照して実施してください。

### ⚠警告

#### 建屋側電源がONの状態での電気系統の点検禁止

感電したり、急に回りだして思わぬけがをすることがありますので、必ず電源をOFFにしてください。

### ⚠警告

#### 運転中および電源がONの状態でのファンの内部点検禁止

回転部分に触れたり、巻き込まれたり、急に回りだして、けがをすることがありますので、必ず電源をOFFにしてください。

### ■点検一覧表

点検箇所	内 容	点検方法	点検期間	処 置
ボリューム ダンパ	給・排気風量 のバランス	オーバースプレーミ ストの動き方を目視	毎日	ダンパの開度調整 ※1
給気1次フィルタ	汚れ、目詰まり	目視	2週間	交換する
給気2次フィルタ	目 詰 ま り	目視	2週間	交換する
排気ファン	異 常 音	聴覚	毎日	毎日
	Vベルトの緩み	※2	6か月毎	張り増しする
電装関係	配線端子の緩み	ドライバーで回す	6か月毎	締め増しする
	モータの汚れ	目視	6か月毎	掃除する

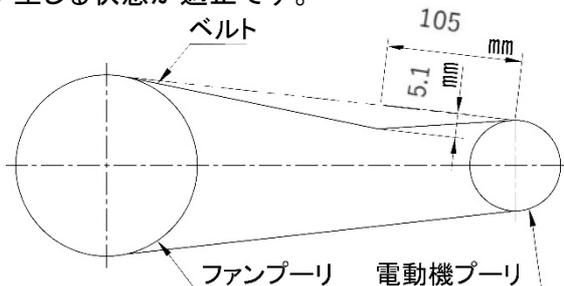
※1 給・排気風量のバランス具合をオーバースプレーミストの流れ方を目視にて判断しますが、  
詳細は10項の給・排気風量のバランス調整を参照してください

※ 2 ベルトの適正な張り状態（羽根車を 10 分回転させた後）

1) 軸流ファン

①VBC/CAW-15F・20F(ファン径  $\phi 600$ 、モータ動力 1.5kW)の場合

電動機プーリ中央から約 105mm でベルトを張力 T の力で押して 5.1mm のたわみが生じる状態が適正です。

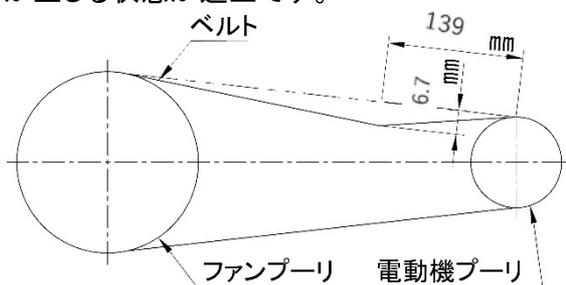


張力  $T=14.8\sim 17.7\text{N/本}$  (50Hz 仕様)

張力  $T=11.8\sim 14.1\text{N/本}$  (60Hz 仕様)

②VBC/CAW-25F BBC/CAB-15H(ファン径  $\phi 800$ 、モータ動力 2.2kw)の場合

電動機プーリ中央から約 139mm でベルトを張力 T の力で押して 6.7mm のたわみが生じる状態が適正です。

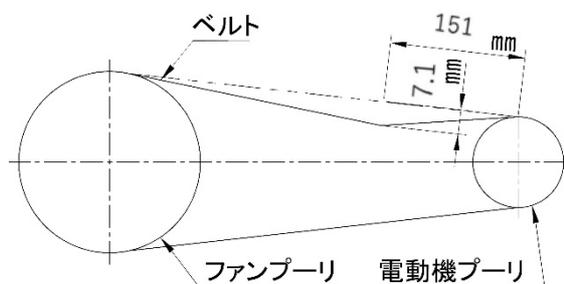


張力  $T=12.7\sim 15.2\text{N/本}$  (50Hz 仕様)

張力  $T=15.0\sim 17.9\text{N/本}$  (60Hz 仕様)

③VBC/CAW-30F・35F・40F BBC/CAB-20H・25H(ファン径  $\phi 800$ 、モータ動力 3.7kw)の場合

電動機プーリ中央から約 151mm でベルトを張力 T の力で押して 7.1mm のたわみが生じる状態が適正です。



張力  $T=15.4\sim 18.5\text{N/本}$  (50Hz 仕様)

張力  $T=17.7\sim 21.3\text{N/本}$  (60Hz 仕様)

2) シロッコファン VBC/CAW-50F BBC/CAB-30H・35H・40H・45H

プーリ間の中央部でベルトを 29.4N の力で押して 10~12mm のたわみが生じる状態が適正です。

## 9. 異常・故障とその処置

故障かなと思われる前にもう一度確認してください。

異常が生じたときには、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合には、お買い上げの販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

現象	原因	処置
1. ブースのフード内に外気が流入する	1. 給気風量の不足	ボリュームダンパの調整／ダンパの調整ハンドルで開度を開く
	2. 給気フィルタの目詰まり	給気1次フィルタの洗浄または交換 給気2次フィルタの交換
2. ブースのフード外にオーバースプレミストが吹き出る	1. 給気風量が多すぎる	ボリュームダンパの調整／ダンパの調整ハンドルで開度を閉じる
	2. 給気フィルタの取付け不良	給気フィルタをすき間がないように取付けする
	3. 塗装ブースの詰まり (給気風量の不足)	塗装ブースの点検・掃除（詳細は塗装ブースの取扱説明書を参照してください）
3. 塗装物にゴミが付着する	1. ブースのフード内に外気が流入する	現象1項の原因の確認と処置を行う
	2. 給気ボックスの周辺にゴミの発生源がある	ゴミの発生源をなくす
	3. 塗装ブース内にゴミの発生源がある	ゴミの発生源をなくす(ex. 塗装物・塗料・マスキング・作業服等のゴミ)
4. ファンがオーバーロードする	1. Vベルトの張りすぎ	Vベルトの張りを適正にする
	2. モータのベアリング不良	ベアリングまたはモータの交換をする
	3. 電源容量の不足	容量をアップする
	4. スイッチの不良	スイッチを交換する
5. ファンが回らない	1. 建屋側電源が OFF になっている	建屋側電源を ON する
	2. モータが焼損している	モータを交換する
	3. スイッチが不良	スイッチを交換する
	4. Vベルトの破損	Vベルトを交換する

注) モータ・スイッチの交換等の電気工事は、サービス店または電気工事店・有資格者に依頼してください。また、ベアリング・Vベルト等の交換は、サービス店に依頼するのが好ましい内容です。

# 10. 給・排気風量のバランス調整について

## 10.1 風量バランス調整の目的

給気ボックスから吸い込んだ空気を1次・2次フィルタ

によってゴミを濾過し、この清浄空気量を塗装ブースのフード内(塗装作業場所)に過不足なく適度に給気します。

### ■風量バランス調整不良時の現象

調整不良内容	現象	不具合内容
1. 給気風量が不足	ブースのフード内に外気が流入する(フード内がマイナス圧状態)	外気と一緒にゴミがブースのフード内に流入し、塗装面にゴミが付着しやすくなる。
2. 給気風量が多すぎる	ブースのフード外にチャンバ室からの給気空気が吹き出る(フード内がプラス圧状態)	給気空気量が多い場合、ブースのフード外にスプレーミスト・溶剤ガスが吹き出て、ブース周辺の作業環境が悪化する。

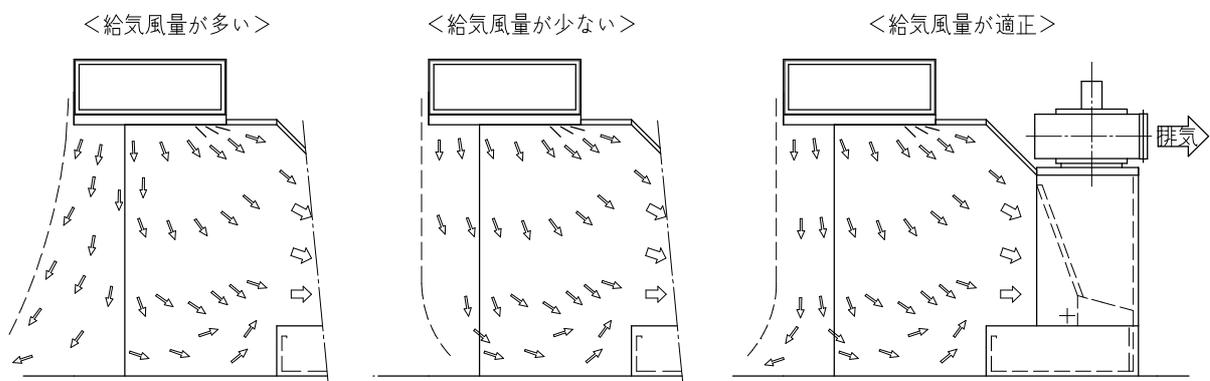
## 10.2 風量バランス調整の方法

### (1) ブース・給気一体式の場合

給気チャンバの前面にマグネットクリップ(付属品)に糸をぶら下げて取付けます。次に、給・排気風量のバランスによるブースのフード部の風の流れを糸のなびき方により判断しながら、ボリュームダンパの開度を調整します。(注;糸は風の流れて良くなびくような軽量の糸、または梱包ヒモをほどいたものを使用してください。)

★糸がブースのフード外に若干なびく状態が理想的な調整状態です

調整不良内容	糸のなびき方	調整方法
1. 給気風量が不足	糸がブースのフード内になびく(フード内がマイナス圧状態)	ボリュームダンパのハンドルを『O側』にまわし、ダンパの開度を開く
2. 給気風量が多すぎる	糸がブースのフード外に大きくなびく(フード内がプラス圧状態)	ボリュームダンパのハンドルを『S側』にまわし、ダンパの開度を閉じる



注) 点線は『糸のなびき方』を示します。

## (2) 給気吊り下げ式の場合

給気チャンバと塗装ブースの間が離れているため、ブース・給気一体式のように給気チャンバの前面にたらしした糸をよる確認はできません。

- 塗装ブースが室内で給気ボックスを室外に設置した場合には塗装ブースを設置した部屋の出入口(窓等の開口部)の風の流れを糸のなびき方により判断することができます。

★糸が室外に若干なびく状態が理想的な調整状態です

調整不良内容	糸のなびき方	調整方法
1. 給気風量が不足	糸がブースの室内になびく (室内がマイナス圧状態)	ボリュームタンクのハンドルを『O側』にまわし、ダンパの開度を開く
2. 給気風量が多すぎる	糸がブースの室外に大きくなびく (室内がプラス圧状態)	ボリュームタンクのハンドルを『S側』にまわし、ダンパの開度を閉じる

- 塗装ブースと給気ボックスを同じ室内に設置している場合には、下記表のような状態にならないようにバランスを調整します。

調整不良内容	現象	調整方法
1. 給気風量が不足	給気空気量が少ない場合で、外気と一緒にゴミがブースのフード内に流入し、塗装面にゴミが付着しやすくなる。 (フード内がマイナス圧状態)	ボリュームタンクのハンドルを『O側』にまわし、ダンパの開度を開く
2. 給気風量が多すぎる	給気空気量が多い場合で、ブースのフード外にスプレーミスト・溶剤ガスが吹き出る。 (フード内がプラス圧状態)	ボリュームタンクのハンドルを『S側』にまわし、ダンパの開度を閉じる

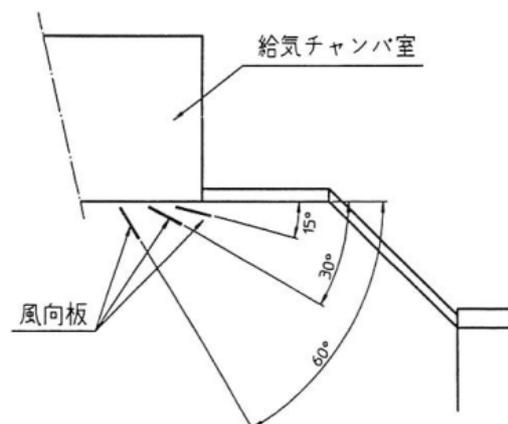
## 1 1. 風向板の調整について

### 1 1. 1 風向板調整の目的

塗装ブースのフード上部の風の流れを制御して、オーバースプレーミストのこもりをなくします。(オーバースプレーミストがスムーズに塗装ブースへ流れ込むようにします。)

### 1 1. 2 風向板調整の方法

基本的には下図のように風向板をセットしてから、実際に塗装ブース・強制給気装置を運転して、オーバースプレーミストのこもりがないように風向板の向きを調整します。



## 1 2. フィルタの洗浄／交換時期・交換方法について

### 1 2. 1 フィルタの洗浄／交換時期

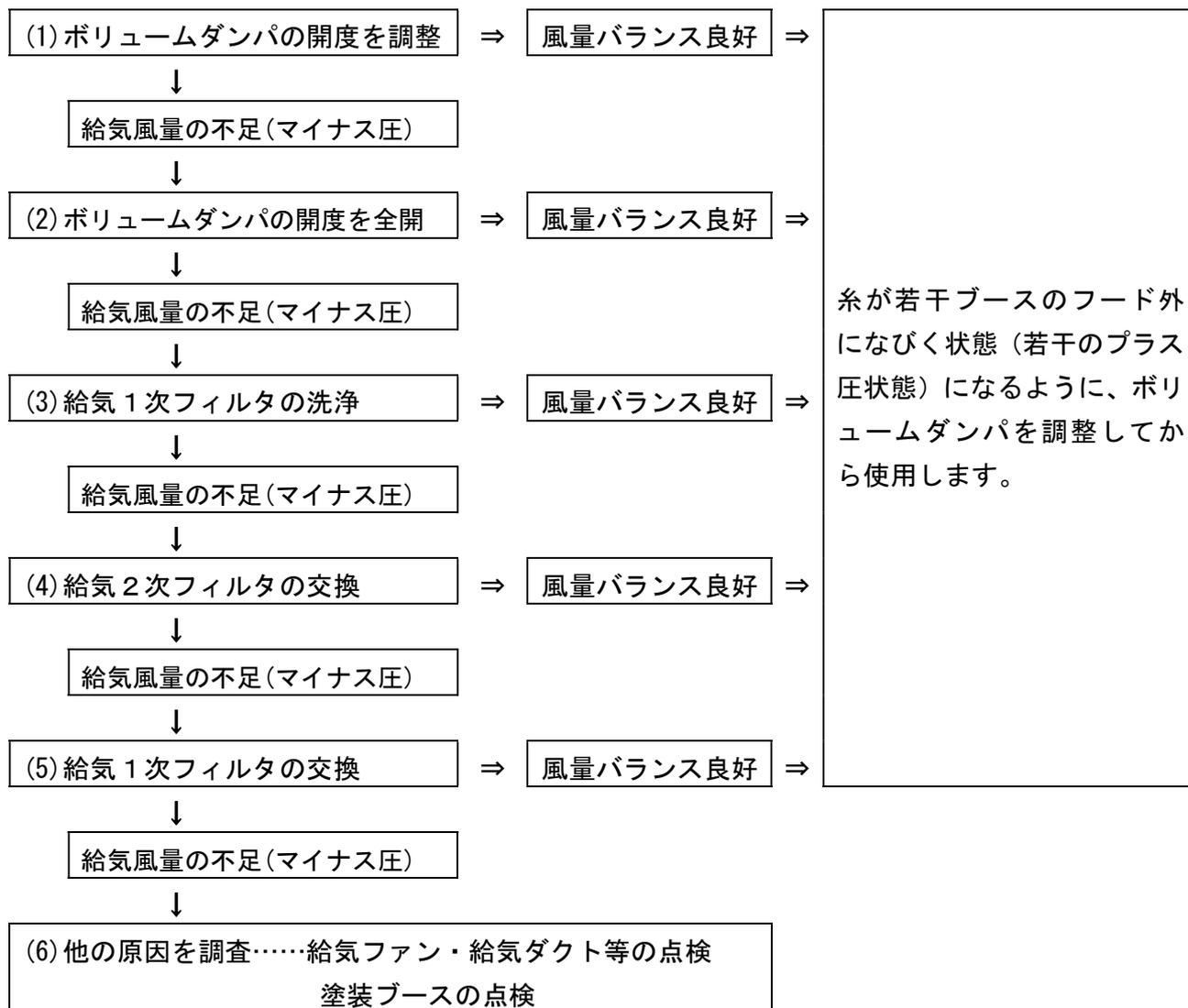
給気風量のバランス調整を行っても糸がブースのフード内になびく場合(給気風量の不足／フード内がマイナス圧の場合)にはフィルタの洗浄／交換が必要となります。

注) 給気1次フィルタは洗浄・再使用が可能です。

給気2次フィルタは使い捨てタイプのフィルタです。

### 1 2. 2 フィルタの洗浄／交換の判断

基本的には下記のような手順によって、フィルタの洗浄または交換の判断をします。

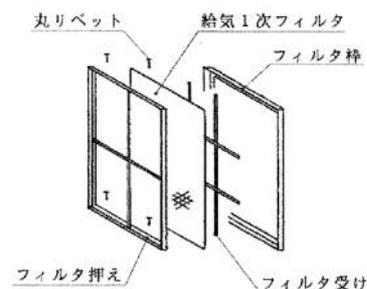


## 1 2. 3 フィルタの洗浄／交換方法

### (1) 給気1次フィルタ（給気ボックス）

#### ①フィルタの外し方

丸リベット（1面に4個）を上引き抜くとフィルタ押さが外れて、給気1次フィルタが取り外せます。尚、同時にフィルタ受けも外れるので注意して外してください。



#### ②フィルタの掃除方法

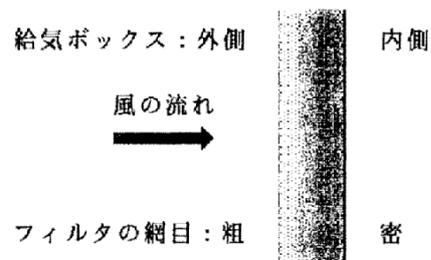
エアブローまたは水洗いすることにより、再使用することができます。

#### ③組み付け方法

### 重要

給気1次フィルタには方向性があります。粗い面をボックス外側に、細かい面をファン側にして取付けてください。反対に取付けると直ぐに目詰まりして、吸込み不良の原因となってしまいますので、ご注意ください。

給気1次フィルタには右図のように裏表がありますので、目の粗い面を給気ボックスの外側にします。フィルタの外周がフィルタ枠とフィルタ押えの間にきちんとはさんで取付けてください。すき間があると、給気ファンの吸引力によりフィルタが給気ボックス内に引き込まれることがあります。また、ゴミを吸い込む原因にもなります。



### (2) 給気2次フィルタ（給気チャンバ）

チャンバ室には入らないでください。

### 重要

チャンバ室内（フィルタを取り付ける枠）は人が乗れる強度がありません。給気2次フィルタの交換時チャンバ室内（フィルタを取り付ける枠）には人は入らないでください。

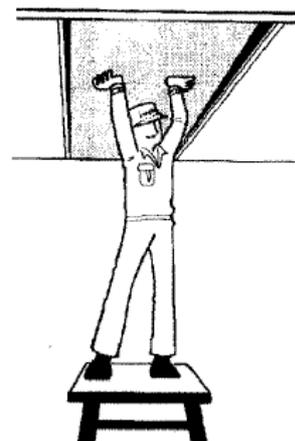
給気2次フィルタの交換時は、2人で足場をしっかりと行ってください。

### 重要

給気2次フィルタはフィルタ枠に組込まれていて、思ったほど軽くありません。交換時は足場をしっかりと二人で行ってください。

#### ①フィルタの外し方

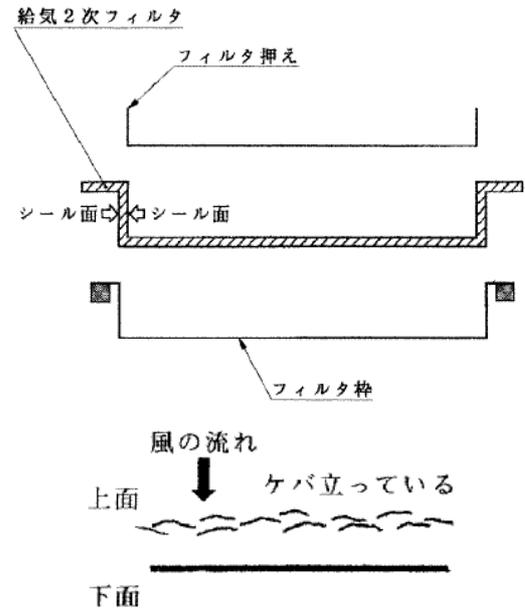
給気チャンバの下面よりフィルタ枠を押し上げ、回しながら斜めにする、フィルタ枠・フィルタ押えと一緒に給気2次フィルタが取り外せます。



## ②フィルタの交換方法

給気2次フィルタは再使用できませんので、交換してください。

給気2次フィルタには右図のように裏表がありますので、目の粗い面を給気チャンバの内側にします。フィルタの外周がフィルタ枠とフィルタ押えの間にきちんとはさんで取付けてください。すき間があれば、ゴミをすき間から吹き出す原因にもなります。



## 1 3. 製品仕様 (強制給気装置)

### 1 3. 1 共通仕様

項目		仕様
モータ形式		全閉外扇形横形4P
スイッチ (普通仕様)		手元開閉器
主要材質	給気チャンバ	電気亜鉛メッキ鋼板 t1.5
	給気ボックス	鋼材 鋼板
	給気フィルタ	給気1次フィルタ/ポリエステル 給気2次フィルタ/ポリプロピレン
塗装色 (マンセル)		N-7.5
標準付属品		取扱説明書 1部

### 1 3. 2 VBC形 (ベンチュリーブース用)

注) 給気吊り下げ式も同じ区分で、下記形式の中間部に『S』を追加すると、給気吊り下げ式となります。 VBC-S15F~S50F

#### ■給気関係仕様

形 式	項目	給気風量 m <sup>3</sup> /min	給気ファン			ファンモータ	
			種類	サイズ (胴径)	Vベルト 50/60Hz×本数	出力 (kW)	電流値(A) 50/60Hz
VBC	-15F	110~105	軸流	φ600	コグベルト HDPF3460/3450×2	1.5	モータの銘板にて確認 をお願いします
	-20F	145					
	-25F	180~169	軸流	φ800	コグベルト HDPF5560×3	2.2	
	-30F	215	軸流	φ800	コグベルト HDPF5570×3	3.7	
	-35F	250~275					
	-40F	290					
VBC-50F		360	シロッコ	3-1/2	B106/105×4	5.5	

■寸法・質量仕様

項目 形式	有効 間口 (mm)	チャンバ室			給気ボックス			相フランジ寸法		
		外形寸法 (mm)		質量 (kg)	外形寸法 (mm)		質量 (kg)	チャンバ 室 (mm)	給気ボッ クス (mm)	
		W	L×H		W	L×H				
VBC	-15F	1500	1800	1500 × 650	260 290 330	880	1940 880 × 2100	200 270 290	φ800 700 × 900	450 × 1400 700 × 1400
	-20F	2000	2300							
	-25F	2500	2800							
	-30F	3000	3300	1500 × 900	440 470	1720	※1	570	※2	
	-35F	3500	3800							
	-40F	4000	4300	900	550	※1	570	※2		
VBC-50F	5000	5300	900	550	1720	※1	570	※2	1400	

13.3 BBC形 (バッフルブース用)

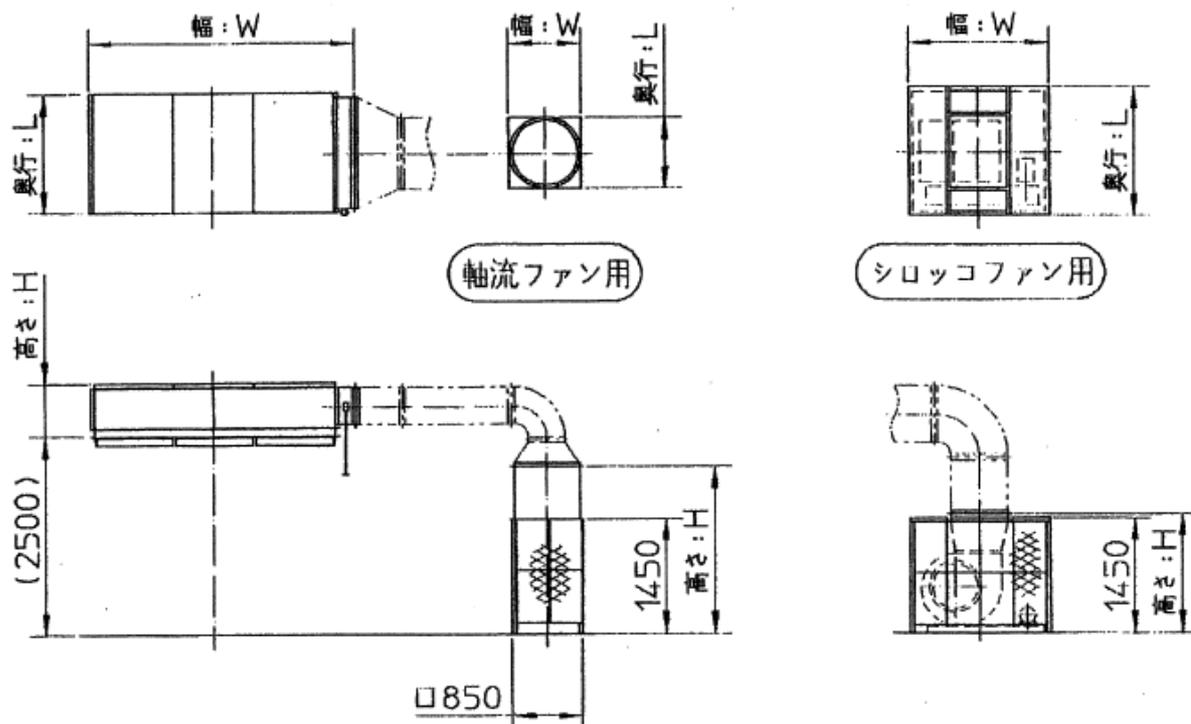
注) 給気吊り下げ式も同じ区分で、下記形式の中間部に『S』を追加すると、給気吊り下げ式となります。 BBC-S15H~S45H

■給気関係仕様

項目 形式	給気 風量 m <sup>3</sup> /min	給気ファン			ファンモータ		
		種類	サイズ (胴径)	Vベルト 50/60Hz×本数	出力 (kW)	電流値/A	
						50/60Hz	
BBC	-15H	軸流	φ800 (mm)	コグベルト HDPF5560×3	2.2	モータの銘板に て確認をお願い します	
	-20H			コグベルト HDPF5570×3			
	-25H			192			3.7
	-30H	シロッコ	3-1/2	B60/60×3	3.7		
	-35H			B106×3/ 105×4	5.5		
	-40H						384
	-45H						

■寸法・質量仕様

項目 形式	有効 間口 (mm)	チャンバ室			給気ボックス			相フランジ寸法		
		外形寸法 (mm)		質量 (kg)	外形寸法 (mm)		質量 (kg)	チャンバ 室 (mm)	給気ボッ クス (mm)	
		W	L×H		W	L×H				
BBC	-15H	1500	1800	1500 × 650	260 290 330	880	880 × 2100	270 290	φ800	450 × 1400
	-20H	2000	2300							
	-25H	2500	2800							
	-30H	3000	3300	1500 × 900	360 440 470 520	1720	1620 × 1500	550 570	700 × 900	700 × 1400
	-35H	3500	3800							
	-40H	4000	4300							
	-45H	4500	4800							



#### 14. 消耗品リスト (強制給気関係)

##### ■給気フィルタ

形式区分		品名/サイズ(mm)/コードNo.		
		給気2次フィルタ	給気2次フィルタ	給気1次フィルタ
		600×1500	1100×1500	800×1300
		00829290	00829280	00829270
ベンチュリーブース タイプ	VBC-15F	1	1	4
	VBC-20F	—	2	
	VBC-25F	1		
	VBC-30F	—	3	
	VBC-35F	1		
	VBC-40F	—	4	
	VBC-50F	—	5	
ハッフルブース タイプ	BBC-15H	1	1	6
	BBC-20H	—	2	
	BBC-25H	1		
	BBC-30H	—	3	
	BBC-35H	1		
	BBC-40H	—	4	
	BBC-45H	1		

注1) 表中の数字は1台当たりの使用数を示します。

注2) 給気吊り下げ式も同じ区分で、下記形式の中間部に『S』を追加すると、給気吊り下げ式となります。  
VBC-S15F~S50F・BBC-S15H~S45H

##### ■Vベルト

13.2項(VBC形)と13.3項(BBC形)を参照してください。

## 15. 保証と修理サービスについて

### 15.1 保証について

#### 保証書（保証規定）

お買いあげの商品を本取扱説明書にしたがって正常のご使用状態で万一故障が起きましたときは、本保証書の記載内容により無償修理いたします。

尚、保証の範囲は、不具合部分の機械的補償までとし、その故障に起因する種々の出費及びその他の損害の保証は致しかねます。

形 式		品名 強制給気装置	
お客さま	御社名		
	お名前		
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	TEL ( ) -	FAX ( ) -	
保証期間	お買いあげ日 年 月 日から 「1年間」を保証期間とします。		
販売店	販売店住所	〒□□□-□□□□	
	TEL ( ) -	FAX ( ) -	

#### ◇ 無償修理を受けるための条件および手続き

(1) 本保証書をご提示の上お買いあげの販売店または弊社営業所、サービス会社にご依頼ください。

(2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

#### ◇ 次の場合は保証期間内でもお客様のご負担（有償）になります。

(1) 本保証書のご提示がない場合

(2) 本保証書にお名前、お買いあげ日、販売店名の記載がない場合あるいは字句等を書換えられている場合

(3) 塗料物以外の乾燥に使用したことによる故障及び損傷並びにそれに伴う一切の事故責任と賠償責任

(4) 取り扱い上の不注意・取扱説明書の記載事項を守られなかったことによる故障および損傷

(5) 消耗品の交換・修理

(6) 指定外の動力源（電圧、周波数、燃料他）または天災・地変（火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷

(7) ご契約時に弊社へ除外を指示され、お客様にて購入された部品に起因する不具合、事故が発生した場合

(8) 弊社指定の修理店以外による修理がなされている場合

#### ◇ 法的責任

本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、本保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等またご不明の点はお買いあげの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。

#### ◇ 保証書の保管

- 「保証書」は、内容をよくお読みになったうえで、「お客様のお名前・ご住所」、「お買いあげ日」、「販売店」など必要事項については、誠に恐縮ですがお客様でご記入していただき、納品書とともに大切に保管して下さるようお願いいたします。
- 本保証書は紛失されても再発行しませんので、大切に保管してください。

### 15. 2 修理サービスについて

修理依頼をされるときには

- 修理はお買いあげの販売店または弊社営業所、サービス会社にご相談ください。このときお買いあげの商品の形式名およびお買いあげの時期をお知らせください。
- 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料にて修理いたします。
- 詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。また その他ご不明な点はお近くの弊社支店・営業所、サービス会社へお気軽にお問い合わせください。

製品に関するお問い合わせ、ご意見・ご希望などございましたら、弊社お客様相談室までご連絡ください。

#### お問い合わせ先

##### ➤ 電話でのお問い合わせ

- ・ スプレーガン、静電塗装機、塗料供給装置、液圧機器、塗装ブース、自動塗装装置、塗装プラント、塗装ロボット、環境装置に関するお問い合わせ

 **0800-100-1926**

- ・ その他、上記以外に関するお問い合わせ

 **0120-917-144**

受付時間： 9:00～12:00/13:00～17:00

但し、土日・祝日・弊社指定休日を除く。

##### ➤ メールでのお問い合わせ

<http://www.anest-iwata.co.jp>

 **アネスト岩田株式会社**

〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176

No. T980-03

コードNo. 00866401